



《学校教育目標》 『感動のある文洋中学校』

『職場体験学習に関わる私の思い出から』

5月21日(火)から23日(金)にかけて、1年生は「宿泊学習」、2年生は「職場体験学習」、そして3年生は「修学旅行」と、それぞれ体験的な学習の場を持つことができました。(1・2年生は、21日(火)が事前指導でした。)前回のこの便りでもご紹介したように、それぞれの学年に応じ「机の上ではできない勉強」を生徒たちが学んできたのです。

実は、2年生で実施した「職場体験学習」について、私には20数年前に一つの思い出があります。当時勤務していた学校で、市内では初めての「職場体験学習」を実施することになりました。当時としては先進的な取組でしたが、前例もあまりなく、生徒の育成に役立つように企画するにはどのように実施していくのか、実施前年から一生懸命考えていました。

そこで、まず当時1年生だった学年の生徒全員に将来の夢を聞いてみたところ、「プロスポーツ選手になりたい。」と答えた生徒が多数いたのです。担当の私は、プロスポーツ選手への道を何とか生徒に助言できないか、プロスポーツ選手になるための体験学習はどのように組めばよいかなど思案するようになりました。そして、無謀にもあるプロスポーツ球団に直接電話をして質問したのです。今考えるととても恥ずかしいのですが、私も若かったものです。

すると、電話に出られた受付の女性が「わかりました。それでは、強化担当に替わります。」と丁寧に答えられた後、男性が電話を替わられて、中学生にはこうお伝えくださいと話されたのです。

『中学生の頃は、先生の指導に忠実に、一生懸命基本を練習してください。基本を着実に身につけていけば、確実に上達していつか私たちの目にとまるようになります。』

ここで私は、自分がプロ選手のスカウトと話をしていることによく気づいたのです。

この時の気持ちを思い起こすと、唐突な質問へ親切に答えてくださったことへの感謝と、最高レベルのプロ球団の方も「中学生には、中学生で身につけておくべき基本指導を重視している。」と答えられたことが、とても印象深い思い出となっています。

私には、この体験から、常に思うようになったことがあります。プロ球団の方が言われた「成長段階に即した基本を身につけていく大切さ」は、スポーツに限らず学習でも当然のことです。一步一步、今学んでいることを自分の力にしていく必要があります。

さらに視野を広げてみると、例えばあいさつ、言葉遣い、礼儀、時間を守ることなど、社会に出ていくために身につけておかなければならない基本的な事柄についても同様です。成長段階に応じて、将来に社会を担う一員としての基本を身につけてほしいと思っています。

学校生活には、そのような「今、身につけるべき基本」を習得していく場がたくさんあります。本校でも常にその視点から教育活動を展開し、3年間の継続性のある学習や取組をより工夫できるよう心がけています。この「生徒に身につけてもらいたい基本」については、保護者の皆様にも思いを共有し、互いの立場で生徒を支援していくことでさらに効果が上がると考えています。

保護者の皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



亀山八幡宮巫女体験



下関消防署 梯子車体験